

萩市企業景況調査

DI方式

平成23年 7月～9月期 実績
平成23年 10月～12月期 予測

DI (ディフュージョン・インデックス) 方式とは？

DIは各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。

◎DI = (増加・好転など「良い」の回答割合)
- (減少・悪化など「悪い」の回答割合)
※設備投資は割合(%)

《調査機関》萩商工会議所

大型店出店、小売業などに影響。 一業況、業種間でバラツキ。先行きに不透明感一

景況の概要

平成23年10月実施の景況調査の集計結果は以下のとおり。(調査対象企業：萩市内60社、回収率93%)

生産・売上 前期比DIは夏場需要などで観光関連業・卸売業が増加したものの、大型店新規出店の影響などで小売業が減少となった(全業種平均7.1ポイント)。前年同期比は大型店出店の影響などで小売業・卸売業が大きく減少。今後(10～12月期)の見通しでは、製造業などが増加、小売業・建設業・卸売業が減少すると予想、業種間でバラツキが見られる(平均▲10.7ポイント)。

収益 収益(経常利益)も生産・売上と同様に業種間でバラツキが見られ、特に小売業・卸売業の減少幅が目立つ。需要停滞に加え、大型店出店による価格競争激化や仕入価格の上昇などで収益が圧迫されている。

資金繰り 売上・収益の不振により、総じて悪化。見通しは観光関連業・サービス業が好転すると回答。

従業員数 観光関連業・サービス業は人員不足、小売業は適正、他の業種は人員に過剰感があると回答。

経営上の問題点 ①需要の停滞 53.6% ②大型店進出による競争激化 10.7%③人件費等経費の増加 7.1%の順となっているほか、同業他社との競争激化・仕入価格の上昇などが挙げられている。

今後の業界動向 各業界の景気見通しは、先行き不透明感などから全業種が悪化(平均▲51.8ポイント)すると予想。特に、建設業・小売業・卸売業などの停滞予想が目立っている。

景況に関する生の声 ■建設業 公共工事が減少(総合建設)。震災で公共工事削減(総合建設)。■製造業 低価格志向が高い(水産加工)。ともかく製品が売れません(製材)。原料・資材価格が上昇(水産加工)。■卸売業 荒天・漁獲量が減少(鮮魚卸)。■小売業 9月にザ・ビック開店により、日用品・ペット用品が売上大幅減(ホームセンター)。震災からの復興にお金が要る。増税不安、節電、政治の停滞など不況ムードが漂う(大型店)。■サービス業 同業との競争入札激化(タクシー・バス)。■観光関連業 国体に期待していたが、売上には殆ど影響がなかった(工房)。景気復調の兆しがなく、春に比べて観光客数の減少を感じる(萩焼店)。国体の関係で、わずかに好影響を感じます(ビジネスホテル)。

項目 / 業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	観光関連業	平均	前年平均	前々年平均	
生産・売上	前期比	0.0	10.0	25.0	▲33.3	0.0	40.0	7.1	10.5	▲5.3
	前年同期比	▲22.2	10.0	▲75.0	▲77.8	10.0	40.0	▲16.1	▲17.5	▲45.6
	23年10月～12月期見通し	▲44.4	30.0	▲37.5	▲44.4	10.0	10.0	▲10.7	1.8	▲7.0
収益	前期比	▲11.1	0.0	▲25.0	▲55.6	10.0	30.0	▲7.1	7.0	▲17.5
	前年同期比	▲22.2	▲10.0	▲62.5	▲66.7	▲10.0	40.0	▲19.6	▲5.3	▲36.8
	23年10月～12月期見通し	0.0	10.0	▲37.5	▲55.6	0.0	10.0	▲10.7	▲3.5	▲8.8
資金繰り	前期比	0.0	▲10.0	▲37.5	▲33.3	▲10.0	10.0	▲12.5	▲5.3	▲26.3
	23年10月～12月期見通し	▲11.1	▲10.0	▲50.0	▲22.2	10.0	10.0	▲10.7	▲15.8	▲21.1
従業員数 23年9月末	▲11.1	▲10.0	▲25.0	0.0	20.0	30.0	1.8	5.3	▲7.0	
設備投資	(実績)	0.0	20.0	12.5	0.0	0.0	10.0	7.1	12.3	7.0
	(計画)	0.0	10.0	12.5	0.0	20.0	0.0	7.1	8.8	7.0
業界動向	▲88.9	▲40.0	▲62.5	▲77.8	▲40.0	▲10.0	▲51.8	▲56.1	▲50.9	